

坂出市立岩黒中学校いじめ防止基本方針

坂出市立岩黒中学校
平成 26 年 2 月 1 日策定
平成 29 年 4 月 1 日見直し
平成 30 年 4 月 1 日見直し
平成 31 年 4 月 1 日見直し

いじめは、いじめを受けた生徒の教育を受ける権利を侵害し、心身の健全な成長や人格の形成に重大な影響を与える。また、それだけでなく、生命や身体に重大な危険を生じさせるおそれのあるものである。

このいじめ防止基本方針は、人権尊重の理念に基づき、全ての生徒が安心・安全で充実した学校生活を送ることができるよう「いじめ問題」を根絶するために策定するものである。

1 いじめ防止に向けての基本姿勢

いじめとは、「当該生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの」である。そして、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた生徒の立場に立つて行う。

(文部科学省「生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」)

上に記した考え方のもと、いじめの兆候や発生を見逃さず、学校が迅速かつ組織的に対応することを全教職員で認識する。また、いじめはどの学校にも起こりうるという事実を踏まえ、すべての生徒をいじめ向かわせないよう取り組みを全教職員で行う。

本校では「いじめは、どんなに小規模の学校でも起こりうるものであり、いじめ問題に全く無関係ですむ生徒はいない。」という基本認識に立ち、どの子もいじめのない明るく楽しい学校生活を送ることができるようする。そのための基本姿勢として、以下の5点を重点指導項目とする。

- ① いじめを許さない、見過ごさない雰囲気づくりに努める。
- ② 生徒の自己有用感を高め、自尊感情を育む教育活動を推進する。
- ③ 全教職員が情報を共有し、いじめの早期発見に努める。
- ④ いじめの早期解決のために、当該生徒の安全を保障するとともに、学校内だけでなく関連機関や専門家と協力をして、解決にあたる。
- ⑤ 学校と家庭が協力して、指導にあたる。

2 いじめ対策のための校内組織設置

(1) 「生徒指導情報交換会」

月に1回、全教職員で生徒について現状や指導方法の情報交換の話し合いを行う。

(2) 「いじめ防止対策委員会」

いじめ防止に関する措置を実効的に行うため、管理職、生徒指導主事、教育相談担当、当該学級担任、SC、保護者（PTA）代表によるいじめ防止対策委員会を設置する。必要に応じて委員会を開催する。

3 いじめの未然防止に関する具体的方策

生徒が個性を認められ、お互いに相手を思いやる風土づくりを学校全体で取り組む。また、教師一人一人が「できる」「分かる」授業づくりを心がけ、生徒に基礎・基本の定着を図る。そうすることで、学習に対する達成感・成就感を味わえるようにする。学校生活全般を通して自己有用感を味わい自尊感情を育むことができるように努める。

道徳の時間には、命の大切さについての指導を行う。また、「いじめは絶対に許されないことである」という認識を生徒がもつように、教育活動全体を通して指導する。そして、見て見ぬふりをすることや知らん顔をすることも傍観者として、いじめに加担していることを理解させる。

(1) いじめを許さない、見過ごさない雰囲気づくりに努める。

① 昼休み

昼の休み時間には、体力づくりとして、バドミントンや一輪車、なわとびなどの運動をする。教職員は生徒とともに活動を行い、子どもの変化を観察する。

② アクティビティ

年間2回の人権旬間に、生徒が教職員、地域の方々と交えて、参加体験型の人権学習を実施し、相手を敬う態度やコミュニケーションのしかたを学んでいる。

③ 全校道徳

全教員が生徒に対して道徳の授業を行う。教員が生徒とともに考え意見を交換し合うことで、お互いの考えを理解し合い、共感的な心を育む。

(2) 生徒の自己有用感を高め、自尊感情を育む教育活動の推進

① 生徒が活躍できる学習活動

「生徒に役割を与える。」という基本姿勢で、以下の教育活動を推進する。

- ・全校生での活動の充実
- ・生徒の自発的な活動を支える委員会活動の充実
- ・生徒が主体的に取り組める学習活動や自主学習プリントの工夫

② 人との関わり方を身に付けるためのソーシャルスキル

ソーシャルスキルトレーニングを行い、自分と他人では思いや考えが違うことに気付かせ、そんな中に認められる自分が存在するを感じることで、自尊感情を育み明るく楽しい学校生活を送ることができるようにする。

③ 安心して自分を表現できる年間カリキュラムの作成

年間カリキュラムにおける活用する力の項目や内容を明確にし、見通しをもって学習に取り組める活動内容や指導方法を工夫する。

④ 人とつながる喜びを味わう体験活動

友達と分かり合える楽しさやうれしさを実感できる確かな力の育成と、相互交流の工夫を行うことでコミュニケーション力を育成する。また、学校行事や生徒会活動、総合的な学習の時間や生活科における道徳性の涵養に資する体験活動の推進を行う。

⑤ 情報教育の充実

インターネット、携帯、スマホ等によるいじめを防止するため、生徒に対して情報モラルに関する指導を行うとともにインターネット等の適切な利用について保護者への啓発を行う。

4 いじめの早期発見・早期解決に向けての取組

(1) いじめの早期発見のための方策

ア 「いじめはどんなに小規模の学校でも起こりうる。」という基本認識に立ち、全教員が生徒

の様子を見守り日常的な観察を丁寧に行う。そのために生徒の小さな変化を見逃さない鋭い感覚を身に付けておく。

イ 気になる生徒がいる場合には毎月の生徒指導情報交換会の場において気付いたことを共有し、より大勢の目で当該生徒を見守る。

ウ 様子に変化が見られる場合には、教師が積極的に働きかけを行い生徒に安心感をもたせるとともに問題の有無を確かめ、解決すべき問題がある場合には、教育相談で当該生徒から悩み等を聞き、問題の早期解決を図る。

エ 「学校生活に関するアンケート」を行い、生徒の悩みや人間関係を把握し、いじめを見逃さない学校づくりを目指す。

オ 教育相談窓口の周知を行い、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家や教職員による教育相談を実施する。

(2) いじめの早期解決のための共通理解

ア いじめ問題を発見したときには、校長以下全ての教員が対応を協議し、的確な役割分担をしていじめ問題の解決にあたる。

イ 情報収集を綿密に行い、事実確認をした上で、いじめられている生徒の身の安全を最優先に考え、いじめている側の生徒に対しては毅然とした態度で指導にあたる。

ウ 傍観者の立場にいる生徒たちにもいじめているのと同様であるということを指導する。

エ 学校内だけでなく関係機関や専門家と協力をして解決にあたる。

オ いじめられている生徒の心の傷を癒すために、スクールカウンセラーや養護教諭と連携を取りながら、指導を行っていく。

(3) いじめ事案発生時における対応

ア 緊急な生徒指導上の問題が発生した場合は、その場の適切な処置をとるとともに管理職に報告する。

イ 緊急を要するいじめ事案や問題行動等が発生した場合は、緊急生徒指導委員会を開催し迅速な対応を行う。校長の指示により迅速に支援体制をつくり全職員で対処する。

(4) 家庭や地域、関係機関と連携した取組

ア いじめ問題が起きたときには家庭との連携をいつも以上に密にし、学校側の取組について伝えるとともに、家庭での様子や友達関係についての情報を集めて指導に生かすこととする。決して学校内だけで問題解決をするようなことはしない。

イ 学校や家庭にはなかなか話すことができないような状況であれば、関係機関等の相談窓口の利用も検討する。

ウ いじめが確認された場合は、保護者に事実関係を伝え、いじめを受けた生徒とその保護者に対する支援や、いじめを行った生徒の保護者に対する助言を行う。また、事実確認より判明した、いじめ事案に関する情報を適切に提供する。

5 教育委員会や関係機等との連携

(1) いじめが犯罪行為として取り扱われるべきものである場合は、警察署と連携して対応する。

(2) いじめにより生徒の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いや相当期間学校を欠席すること余儀なくされている疑いがあるなどの重大事態発生した場合は、速やかに教育委員会報告する。

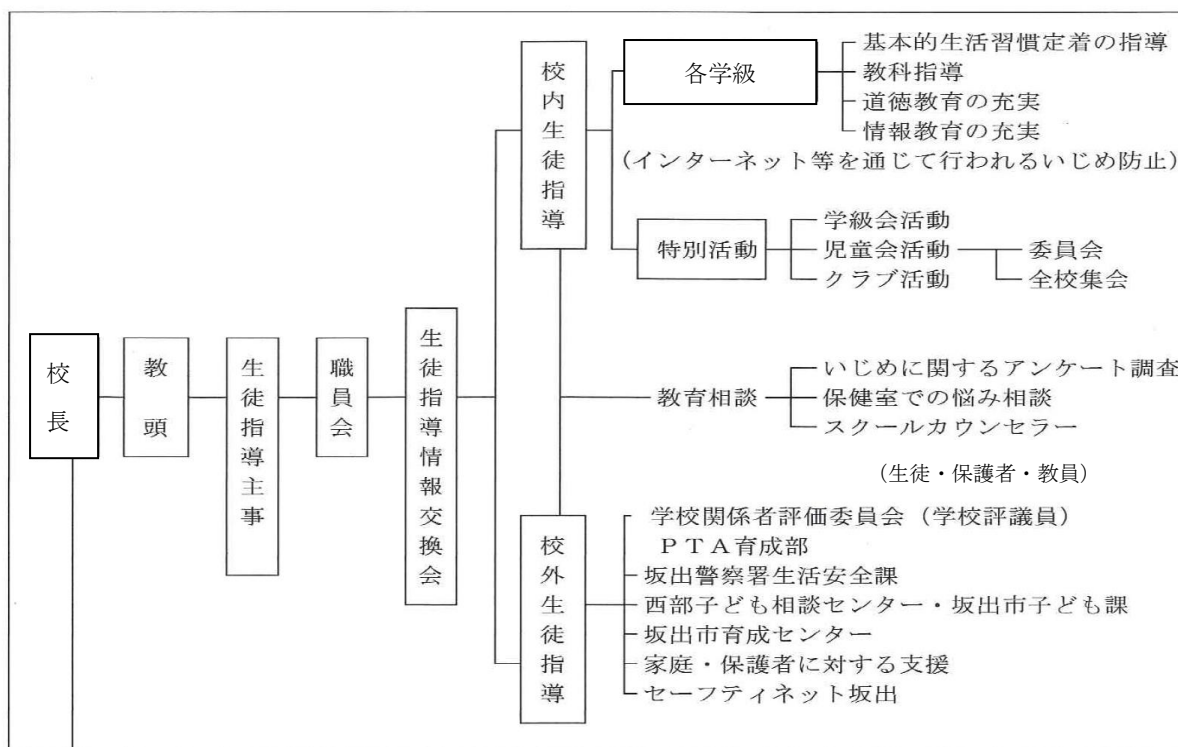
6 懲戒権の適切な行使

教育上必要があると認めきは、学校法第 11 条の規定に基づき、生徒に対して適切に懲戒を加える。ただし、いじめには様々な要因があることに鑑み、懲戒を加える際には教育的配慮に十分留意し、いじめた生徒が自らの行為を理解し、健全な人間関係育むことができるように促す。

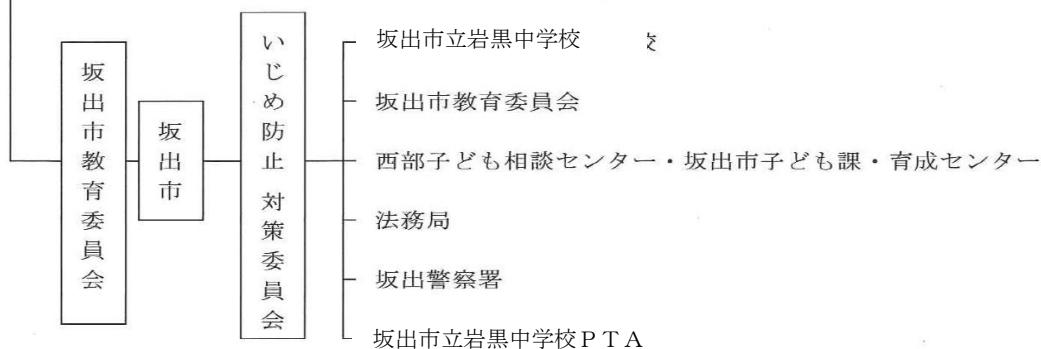
7 学校評価の実施

学校評価において、いじめ問題への取組等について自己点検・自己評価を行うとともに、その結果を学校評議委員会ならびに坂出市教育委員会に報告する。

8 いじめの防止・早期発見・早期対応体制



<重大事態への対処体制>



※ 平成 31 年度は生徒が 1 名のため、校内においていじめの発生は考えられない。しかし、進学後、就職後のさまざまな出会いの中で、何らかのいじめの場面に遭遇することは否定できない。生徒が自尊感情をもって生き生きと生活し、自己実現できるようなエンパワーメントを身に付ける指導とともに、生徒にいじめを見抜く力、いじめに対処する力を育てるように人権教育や道徳教育等すべての教育活動を通して、全教職員で指導する。